

## 無垢の木の収納

[haco]

株式会社 ウッドワン

〒738-0023

広島県廿日市市下平良1-12-1

商品相談窓口  
株式会社ヘルキッチン

0120-641-265

〔受付時間〕 平日/10:00~12:00、13:00~17:00 休日/土・日・祝日

このたびはウッドワンの商品を御利用いただき、誠にありがとうございます。  
取付設置前にこの説明書をよくお読みいただき、安全に正しく取付設置されるようお願い致します。

## 必ずお守りください

## 安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意



## 警告

使用に際して以下の注意が守られない場合、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。  
確実に守ってください。



## 注意

取付設置に際して以下の注意が守られない場合、取付設置に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。



禁止

## ・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

## ・ヒンジを分解したりしない。

扉取り付け用のヒンジを分解したり、無理に曲げたりすると、扉が脱落してケガの原因となりますので、絶対にしないでください。

## ・製品に乗ったりぶら下がったりしない。

製品が外れたり破損したりして、ケガの原因となりますので、絶対にしないでください。

## ・ガラスに強い衝撃を与えない。

扉（ガラスタイプ）に強い衝撃を与えるとガラスが割れてケガの原因となり危険です。



必ずおこなう

## ・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC（揮発性有機化合物）対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

## ・確実にキャビネットと壁面を固定する。

キャビネットがあらかじめ間柱・補強材等の下地処理を施した壁面と固定されていないと、キャビネットが転倒してケガの原因となりますので、確実にキャビネットと壁面を固定してください。

## ・取付設置で使用するねじを固定する場合は、必ずドライバで行い、締めすぎによるねじの空回り、折れ、頭（スリワリ）つぶれのないようにする。

固定ねじ用ねじがきかないと、キャビネットなどが落下してけがの原因となります。

## ・扉のかたむき・ガタつきや丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉の取り付けに異常があると、使用中に扉が落下して、けがをすることがあります。

## ・確実にキャビネット同士を連結する。

キャビネット同士が連結金具で確実に連結されていないと、キャビネットが転倒・脱落してケガの原因となりますので、確実にキャビネット同士を連結してください。

## ・取付時はヘルメット、安全靴などを着用する。

着用しないと、キャビネットの角で頭を打ったり、落下物による打撲などの事故の原因となります。

## ・耐荷重を必ず守る。

耐荷重を超えてものを載せると製品が破損したり脱落してケガの原因となります。

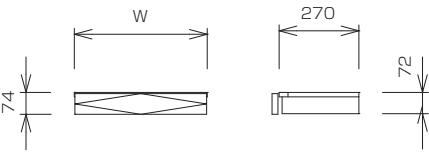
※詳しくは17ページの【収納量の目安】をご参照ください。

## もくじ

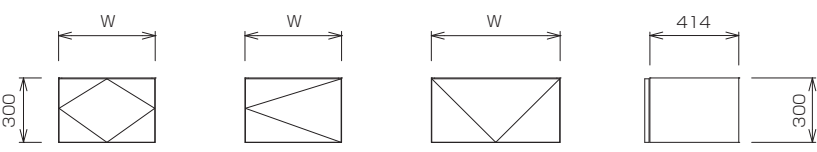
|                            |    |                         |       |
|----------------------------|----|-------------------------|-------|
| 安全上のご注意                    | 1  | 開き扉の取り外しと取り付け・調整方法      | 11    |
| 製品寸法                       | 2  | 引き出しの取り外しと取り付け・調整方法     | 12    |
| 部材の確認                      | 3  | フラップアップ扉の取り外しと取り付け・調整方法 | 13    |
| 取付設置場所の確認                  | 4  | フラップダウン扉の取り外しと取り付け・調整方法 | 14    |
| キャビネットの取り付け                | 5  | 使用上のご注意                 | 15    |
| ベースキャビネットの取り付け             | 6  | 木製部のご使用方法とお手入れ          | 16    |
| フロートキャビネットの取り付け/エンドパネルについて | 7  | 収納量の目安（重量規定）            | 17    |
| カウンターの取り付け/天井幕板・フィラーについて   | 8  | 配線について（リビング TV 台プラン）    | 18・19 |
| カウンター補強金具の取り付け             | 9  | アフターサービス・品質保証           | 20    |
| 薄引き出し箱について                 | 10 |                         |       |

# 製品寸法

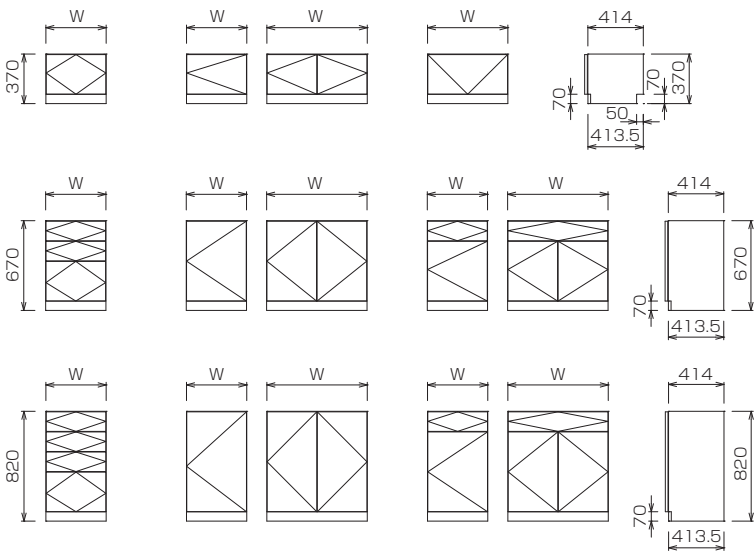
## ■背引き出し



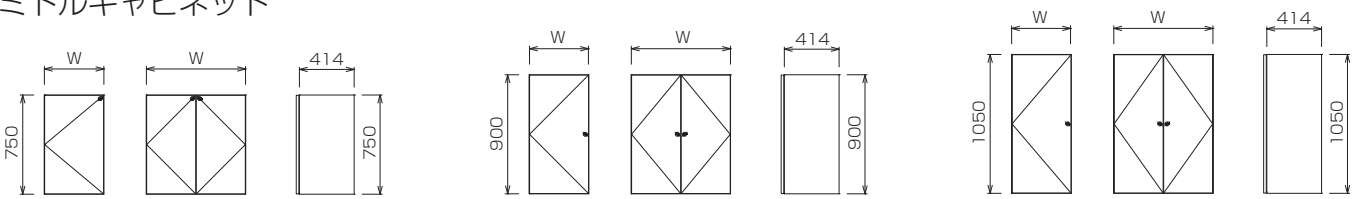
## ■フロートキャビネット



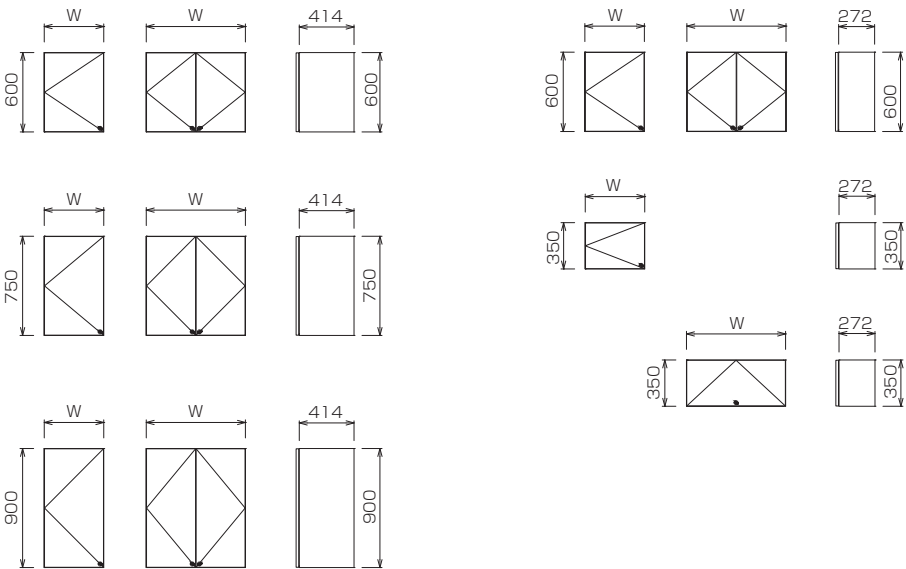
## ■ベースキャビネット



## ■ミドルキャビネット



## ■アップパーキャビネット

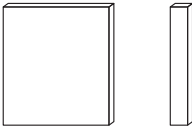
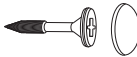


# 部材の確認

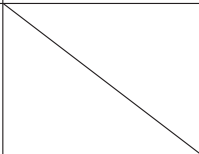
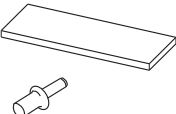
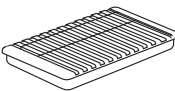
## カウンター

| 部品名 | カウンター                                                                             |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 形状  |  |

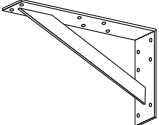
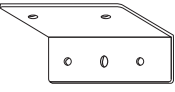
## パネル・フィラー

| 部品名 | パネル・フィラー                                                                          | 連結ビス(4×28)                                                                          |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 形状  |  |  |

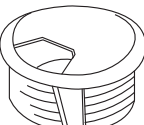
## キャビネット

| 部品名 | 本体キャビネット                                                                          | 皿ビス(4.5×65)<br>(化粧キャップ・ワッシャー付)                                                    | トラスビス(4×12)                                                                       | 棚板・棚ダボ                                                                            | 配線孔キャップ                                                                            |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 形状  |  |  |  |  |  |

## 固定金具

| 部品名 | ブラケット                                                                               | 皿ビス(3.8×50)                                                                                 | トラスビス(4×16)                                                                                 | L金具                                                                                  | トラスビス(4×65)                                                                                   | トラスビス(3.5×16)                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 形状  |  | <br>(6本) | <br>(6本) |  | <br>(3本) | <br>(2本) |

## ケーブル孔キャップ

| 部品名 | ケーブル孔キャップ                                                                           |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 形状  |  |

# 取付設置場所の確認

## 【壁面の取り付け下地材の確認】

### ⚠ 警告



必ずおこなう

- 壁面の取り付け下地材の位置を確認する。
- 壁面の下地材が強固に固定されていることを確認する。
- 下地材は虫食いや腐れのない木材をご使用ください。  
(大工工事)

下地材の取り付けが不完全な場合、キャビネットが落下してけがをするおそれがあります。

## 【建築壁について】

- 建築壁には、かならず下地材(桟木、合板)を取り付けてください。(大工工事)
- 下地材が桟木の場合は堅木で虫食いや腐れのない木材、厚み30mm以上を使用してください。  
合板の場合はJAS規格品 広葉樹系(ラワン合板)以上の強度を有するもの、厚み12mm以上を使用してください。
- 建築壁には代表的なものとして以下の種類があります。

木質壁

軽量鉄骨壁

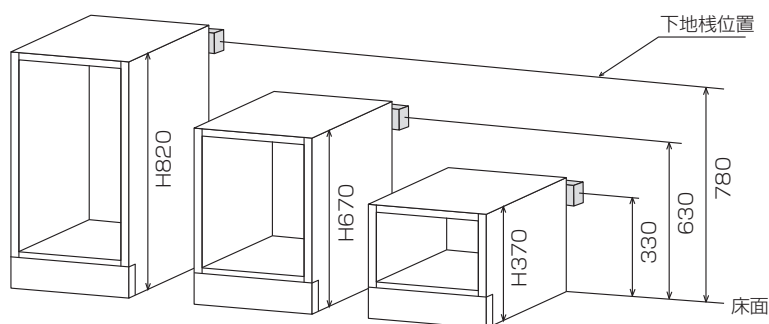
ALC壁

RC壁

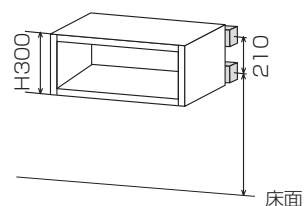
- 取付設置図面通りに、下地材(桟木・合板)などの工事が完了していることを確認する。

※修正が必要なものは、修正工事依頼をすること。

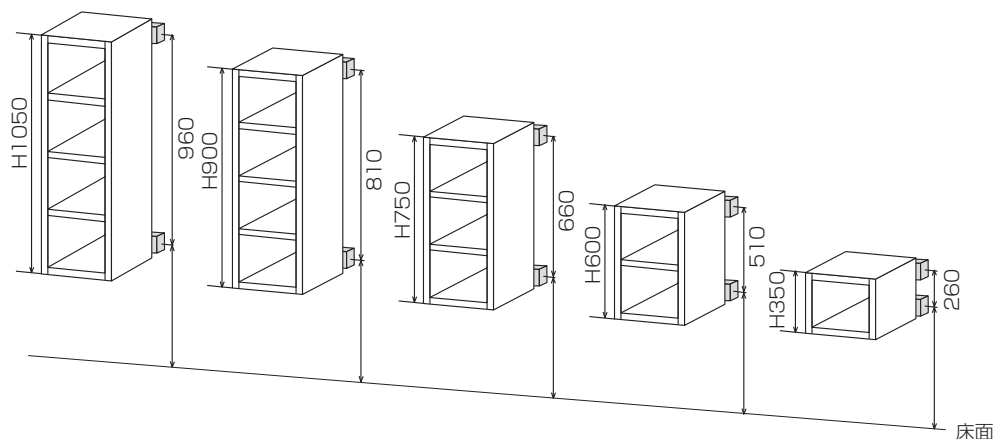
## ベースキャビネットの下地材位置



### ●フロートキャビネット

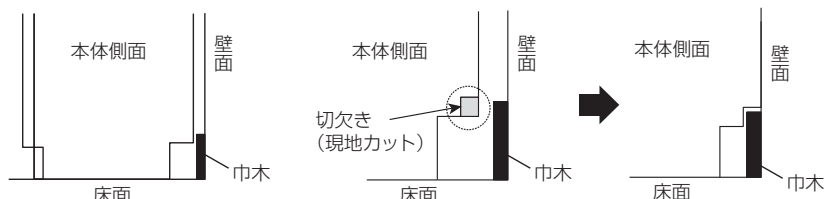
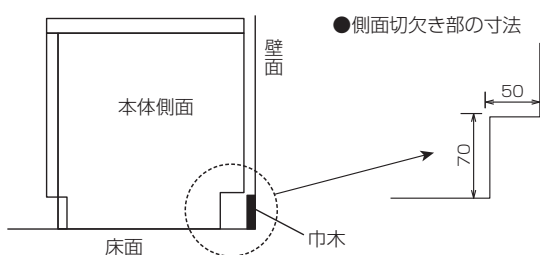


## アッパー・ミドルキャビネットの下地材位置



## 巾木対応について

- H370のベースキャビネットは巾木対応用として側板後方を切り欠いています。



※巾木の高さが70ミリ以上の場合、側板が干渉する部分を切欠いてください。  
※サイドパネルを取り付ける場合は、配線ができるように切欠いてください。

# キャビネットの取り付け

## 警告

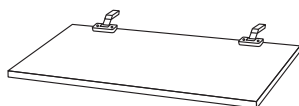


必ずおこなう

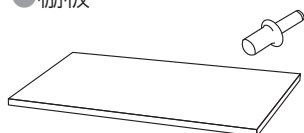
- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とビスで固定してください。

## 部材を取り外す（取り外し方は11～14ページを参照）

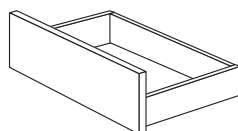
### ●開き扉



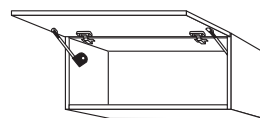
### ●棚板



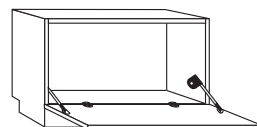
### ●引き出し



### ●フラップアップ扉



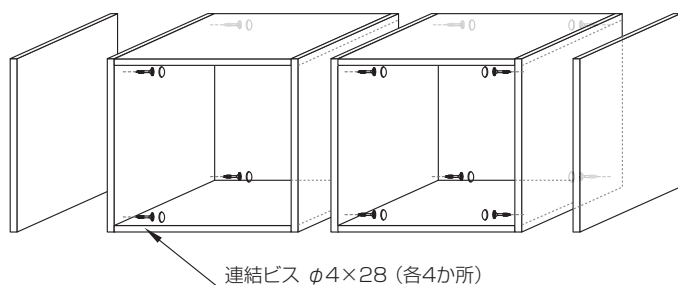
### ●フラップダウン扉



## アッパー・ミドルキャビネットの取り付け

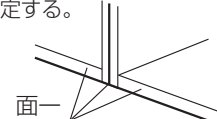
- ①側板に下穴をあけてから隣接するキャビネットの面を合わせながら連結ビスで固定する。
- ②連結したキャビネットとパネルの上、後、下を合わせて連結ビスで固定する。※パネルの表示シールに従い取り付ける。

### ●H350の場合



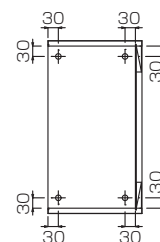
#### キャビネットの連結

隣接するキャビネットの面を合わせて固定する。

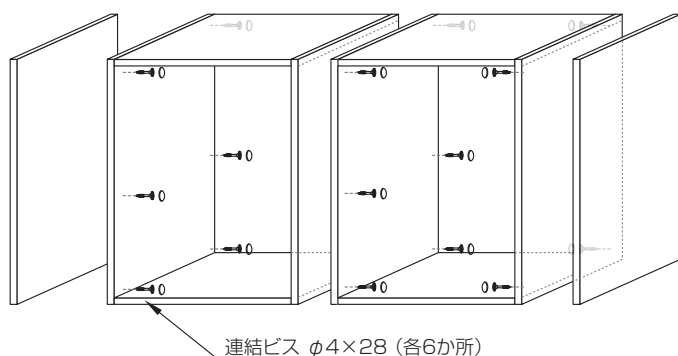


#### 連結ビス位置

〈側面〉



### ●H600～H1050の場合



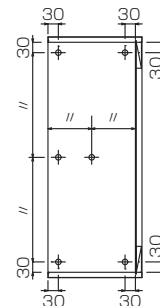
#### キャビネットの連結

隣接するキャビネットの面を合わせて固定する。



#### 連結ビス位置

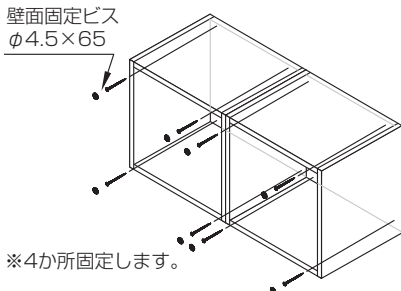
〈側面〉



- ③キャビネットを水平・垂直に壁面固定ビスにて固定する。

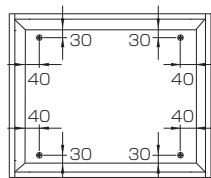
### ●片開きの場合

壁面固定ビス  
φ4.5×65



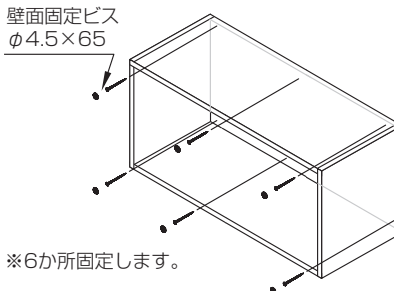
※4か所固定します。

〈正面〉



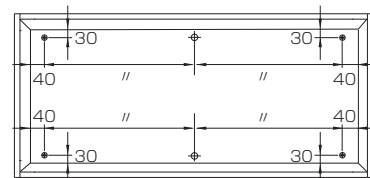
### ●両開きの場合

壁面固定ビス  
φ4.5×65



※6か所固定します。

〈正面〉



# ベースキャビネットの取り付け

## 警告



必ずおこなう

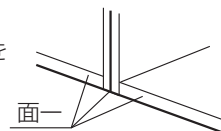
- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とビスで固定してください。

## ベースキャビネットの取り付け

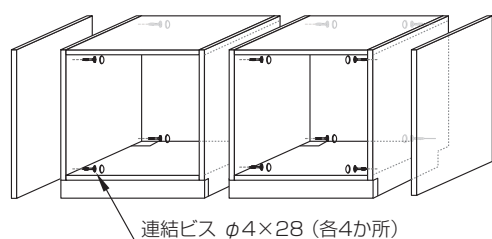
- ①側板に下穴をあけてから隣接するキャビネットの前面を合わせながら連結ビスで固定する。
- ②連結したキャビネットとパネルの後、下を合わせて連結ビスで固定する。  
※パネルの表示シールに従い取り付ける。

### キャビネットの連結

隣接するキャビネットの面を合わせて固定する。

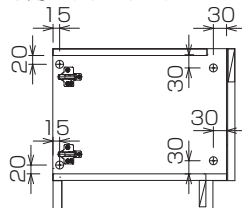


### ●H350の場合

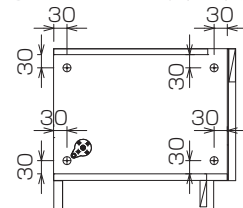


### 連結ビス位置〈側面〉

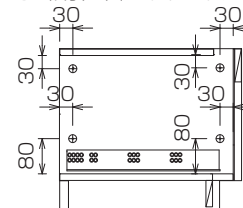
#### ●開きキャビネット



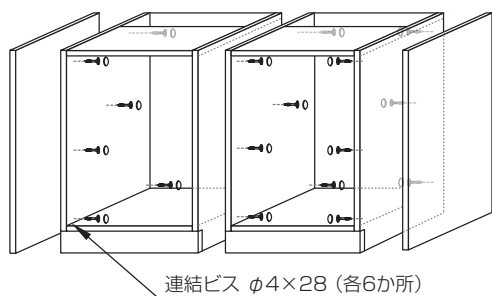
#### ●フラップダウンキャビネット



#### ●1段引き出しキャビネット

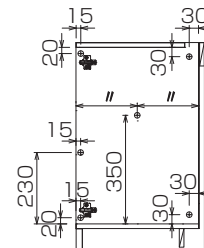


### ●H670の場合

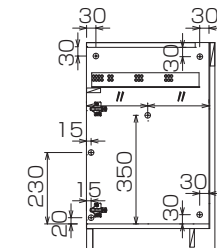


### 連結ビス位置〈側面〉

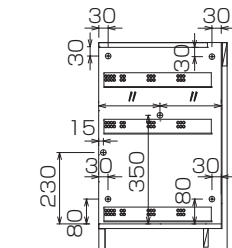
#### ●開きキャビネット



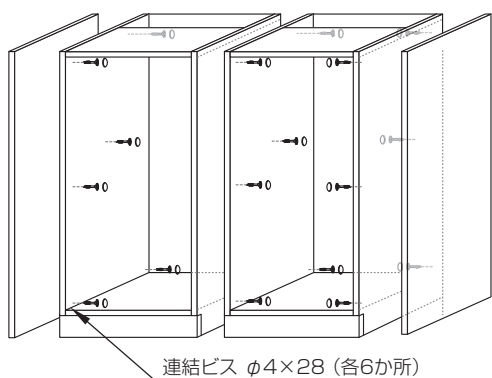
#### ●1段引き出し+開きキャビネット



#### ●3段引き出しキャビネット

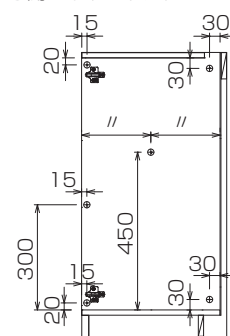


### ●H820の場合

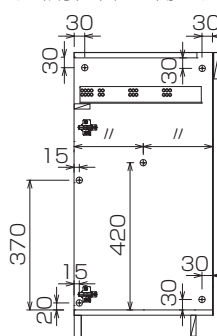


### 連結ビス位置〈側面〉

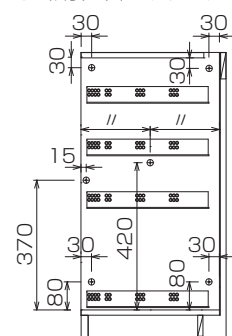
#### ●開きキャビネット



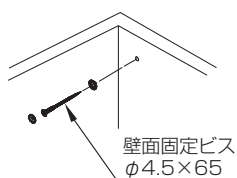
#### ●1段引き出し+開きキャビネット



#### ●4段引き出しキャビネット

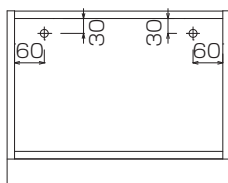


- ③キャビネットを壁面に壁面固定ビスにて固定する。



※2か所固定します。

### 〈正面〉



# フロートキャビネットの取り付け / エンドパネルについて

## 警告



必ずおこなう

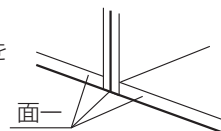
- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とビスで固定してください。

## フロートキャビネットの取り付け

- ①側板に下穴をあけてから隣接するキャビネットの前面を合わせながら連結ビスで固定する。
- ②連結したキャビネットとパネルの後、下を合わせて連結ビスで固定する。  
※パネルの表示シールに従い取り付ける。

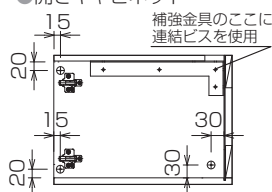
### キャビネットの連結

隣接するキャビネットの面を合わせて固定する。

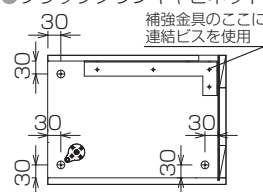


### 連結ビス位置〈側面〉

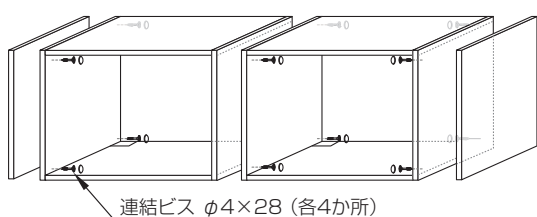
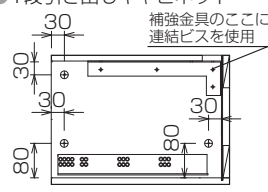
#### ●開きキャビネット



#### ●フラップダウンキャビネット

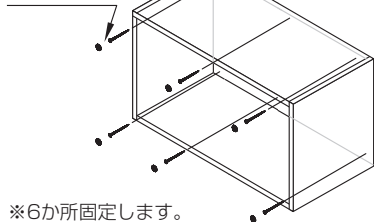


#### ●1段引き出しキャビネット



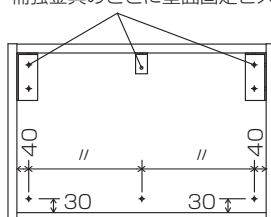
- ③キャビネットを壁面に壁面固定ビスにて固定する。

壁面固定ビス  
φ4.5×65



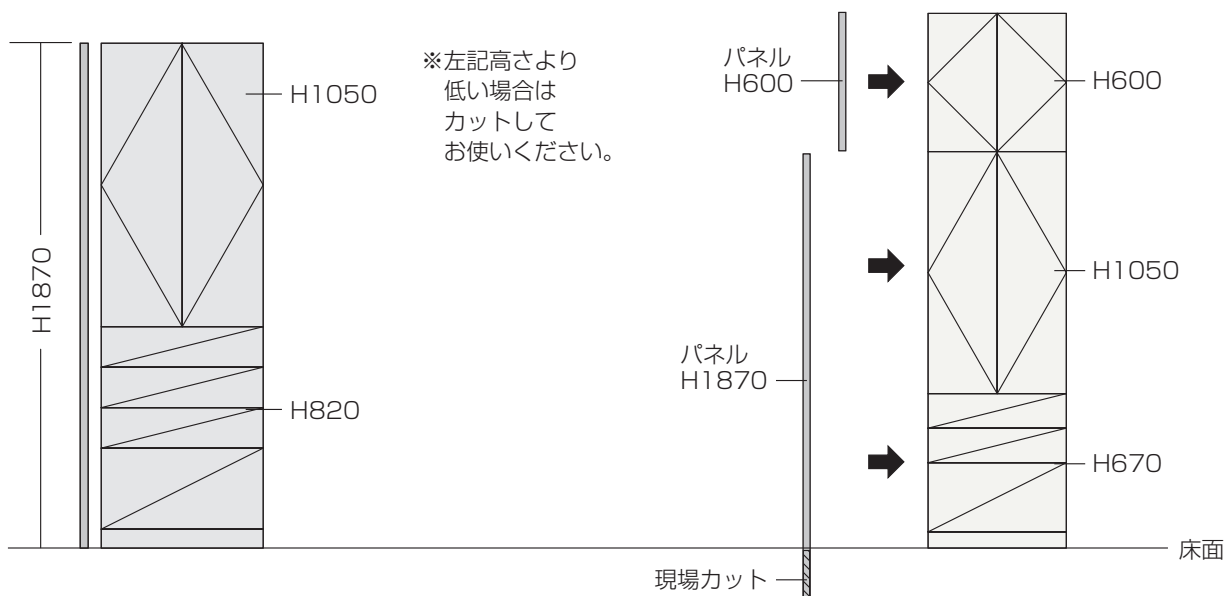
### 〈正面〉

補強金具のここに壁面固定ビスを使用



## エンドパネルについて

- エンドパネルはカットすることでいろいろな高さに対応します。

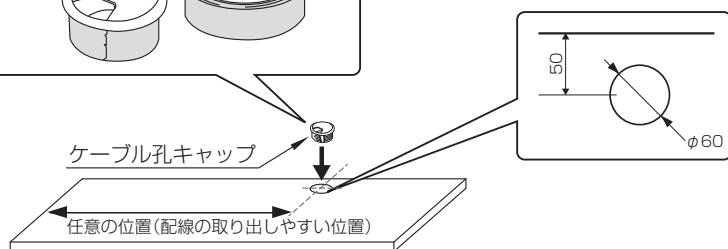
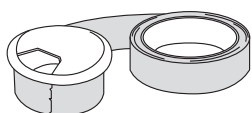


# カウンターの取り付け / 天井幕板・フィラーについて

## ケーブル孔キャップの取り付け ※ケーブル孔キャップは【別途手配】

カウンターに配線を通す場合にケーブル孔キャップを使用します。  
・ケーブル孔キャップを取り付ける位置に下穴をあけてからφ60の穴をあける。  
※接着剤やねじ固定はしません。

※ケーブル孔キャップが外れやすい場合は、テープを巻いて調整してください。



### ⚠ 注意

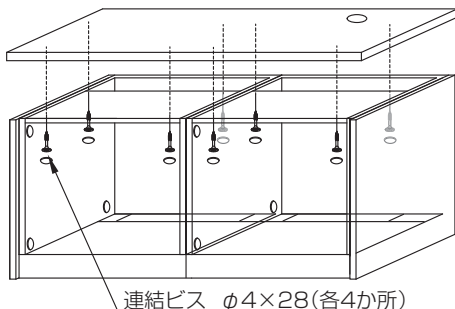


キャビネット同士の境目に  
カウンターのケーブル孔  
キャップを設置することは  
できません。  
配線を通すことができないため。

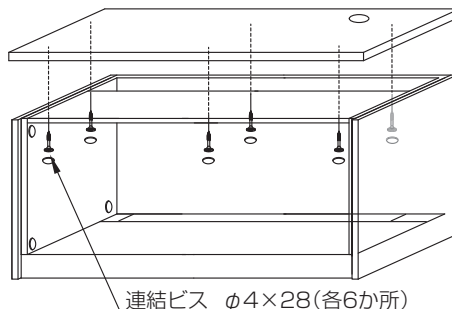
## カウンターの取り付け

キャビネットに下穴をあけてからカウンターと連結ねじで固定する。

- キャビネット間口W450以下の場合は4か所固定。



- キャビネット間口W600以上の場合は6か所固定。



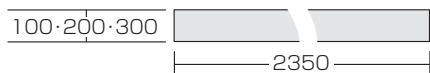
## 天井幕板・フィラーについて

- 納まり部材として、天井幕板とフィラーを兼用部材としております。

### 納まり部材

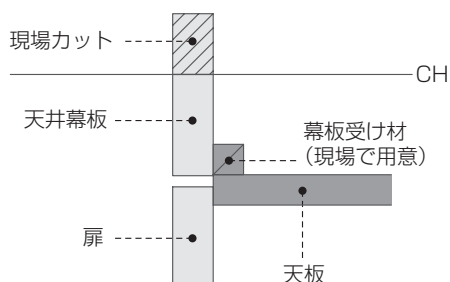
天井幕板 兼 フィラー

サイズ: 2350×(100 | 200 | 300)×20mm



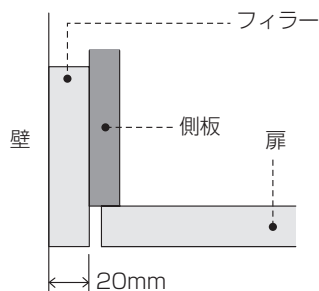
### 天井との納まり

- ・天板幕板をカットして使う

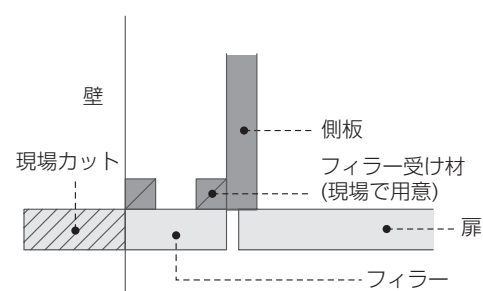


### 天井との納まり

- ・フィラーを差し込む



- ・フィラーをカットして使う





# カウンター補強金具の取り付け

## 警告

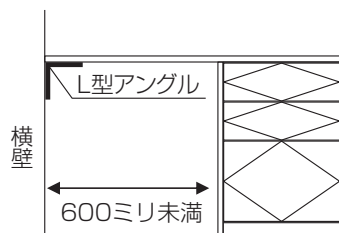


必ずおこなう

- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とビスで固定してください。

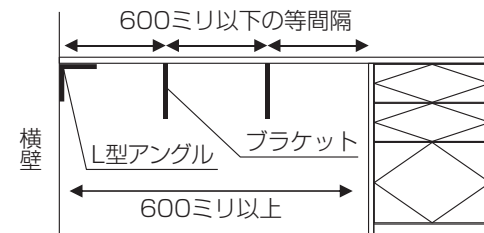
## ブラケットとL型アングルの取り付け位置の確認

- 片壁でオープンスペースが600ミリ未満の場合



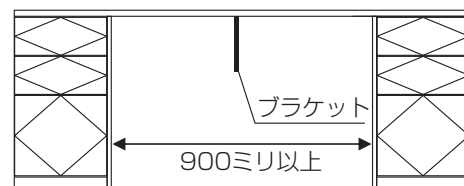
- ・横壁にL型アングルを2本使用してカウンター固定。

- 片壁でオープンスペースが600ミリ以上の場合



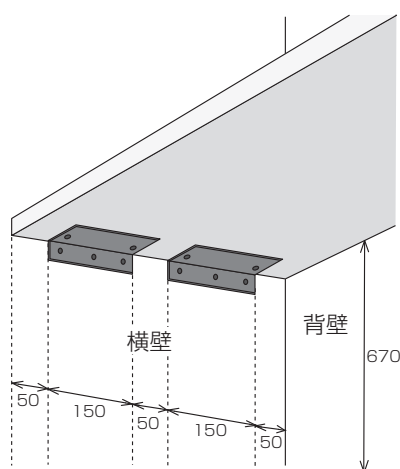
- ・横壁にL型アングルを2本使用してカウンター固定。
- ・間口方向600以下の等間隔にてブラケットを必要本数を固定。

- 両側がキャビネットの場合

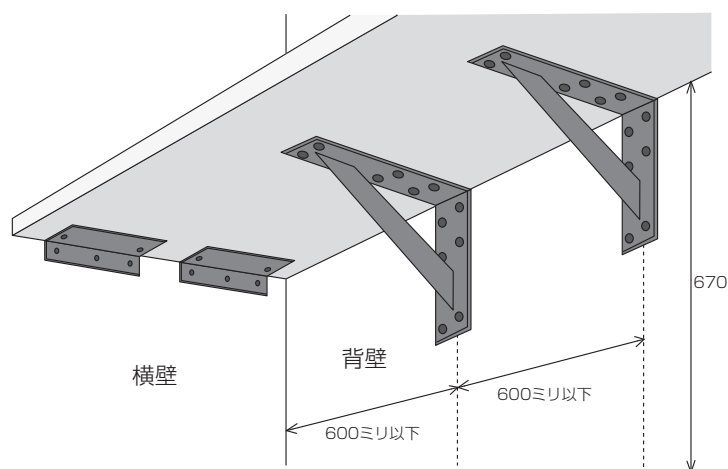


- ・900ミリ以上からブラケットが必要です。

横壁側のL型アングル取り付け位置



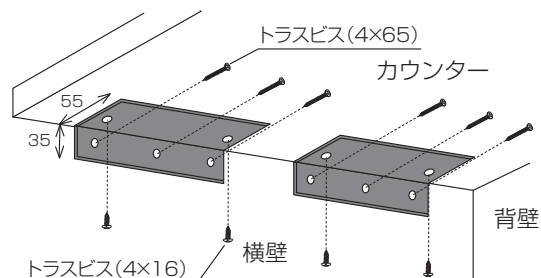
横壁側のカウンターブラケット取り付け位置と間口方向の取り付け位置



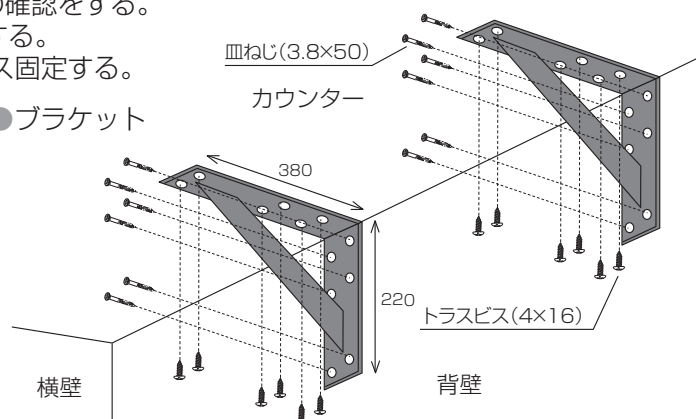
## ブラケットとL型アングルの取り付け

- ①ブラケットとL型アングルの向きと取り付け位置、下地の確認をする。  
水平・垂直を確認して、高さ670ミリの位置にビス固定する。
- ②カウンターを設置して位置確認を行い、カウンターにビス固定する。

- L型アングル



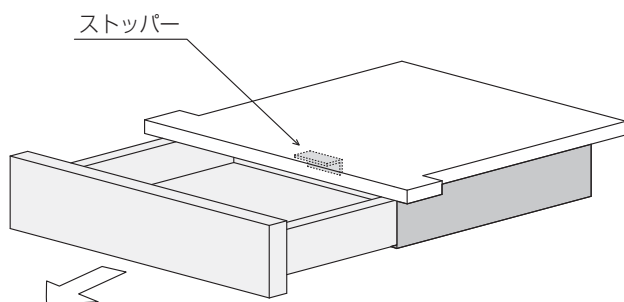
- ブラケット



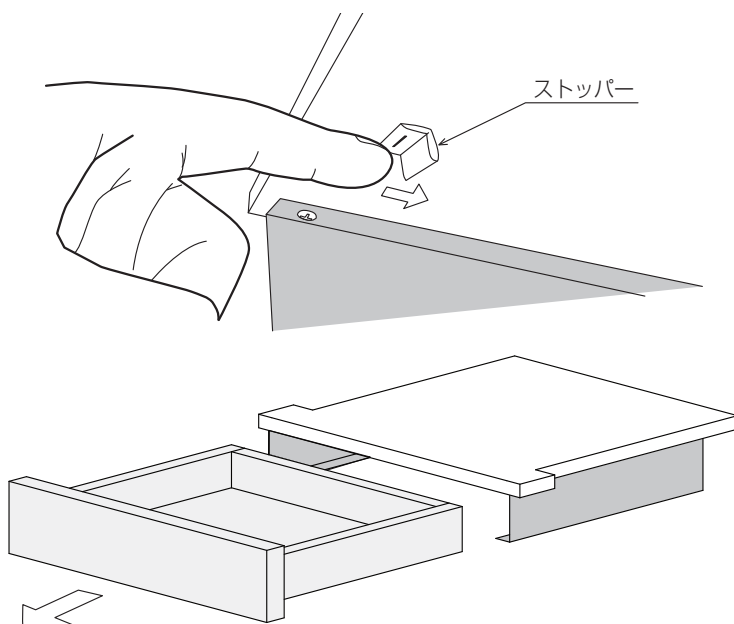
# 薄引き出し箱について

## 引き出し箱の外し方

①引き出し箱をある程度引き出します。



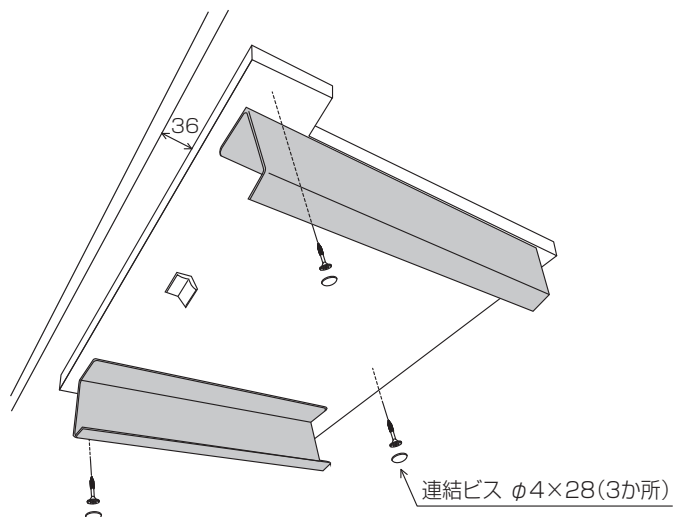
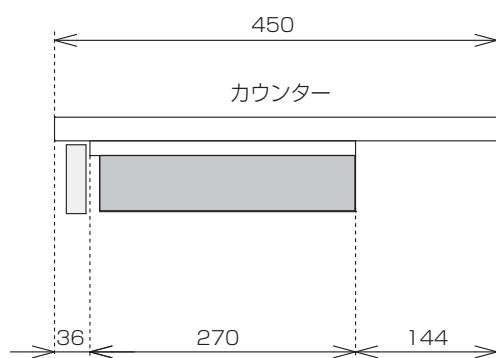
②ストッパーを指で押しながら（平にして）、引き出しを抜いてください。



## 薄引き出し箱の固定方法

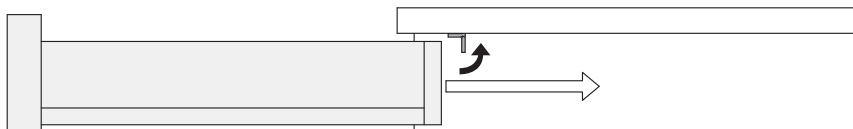
①引き出し箱を外します。

②連結ビスでカウンター下から固定します。



## 引き出し箱の入れ方

①引き出し箱で本体のストッパーを押して、入れ込んでください。



# 開き扉の取り外しと取り付け・調整方法

## 警告



扉や引き出しを取り付けたら、傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

必ずおこなう 扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

## 注意



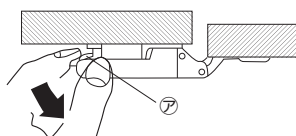
扉と引き出しの調整は電動工具を使用しないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う。

必ずおこなう 破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

## 開き扉の取り外しと取り付け

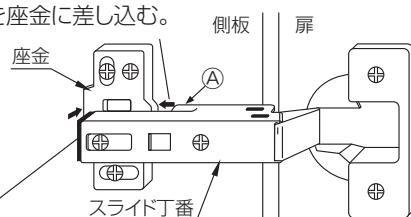
### ●取り外す場合

・丁番の後方のレバー⑦をつまんで外す。

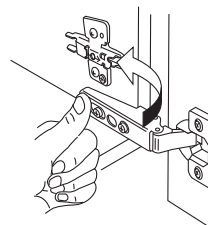


### ●取り付ける場合

①Aを座金に差し込む。



②丁番を座金に合わせて押し付ける。「カチッ」と音がします。

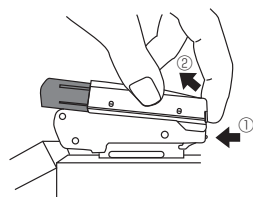


扉をキャビネットに取り付けるにはヒンジアームの前部を先に合わせ座金に軽く指で押すだけです。

取り付け後、扉を2～3回開閉し固定を確認する。

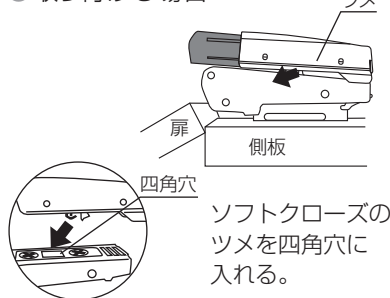
## ソフトクローズの取り付けと取り外し

### ●取り外す場合

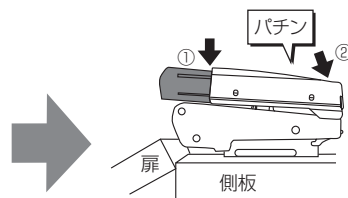


ななめ手前方向に引き上げます。

### ●取り付ける場合



ソフトクローズのツメを四角穴に入れる。



前方①を固定しておき、後方②をおさえパチンと音が出るまでしっかりとめる。

## 注意

無理な脱着は、部品破損原因になります。

## 開き扉(丁番)の調整

扉が傾いたり、がたついているときは、丁番で調整してください。

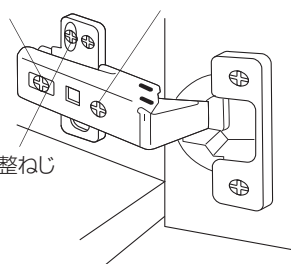
※イラストは右扉の場合です。左扉の場合は丁番が上下逆さになります。

### 段違いの調整

⑧前後調整ねじ

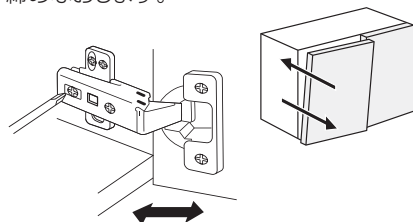
④左右調整ねじ

⑨上下調整ねじ



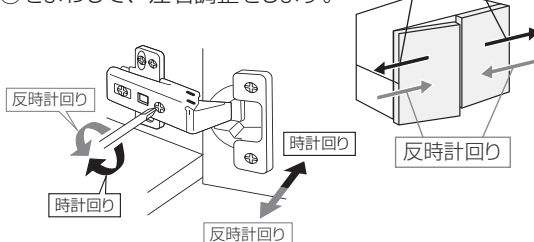
### 扉の前後調整

扉を取り付けた後⑧をゆるめて前後調整し、締めなおします。



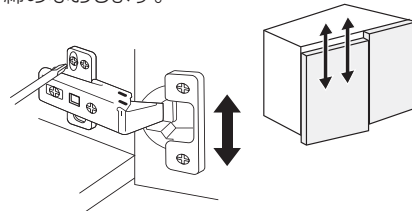
### 扉の左右調整

⑧の固定ねじを締めたまま④をまわして、左右調整をします。



### 扉の上下調整

⑨をゆるめて扉ごと上下調整をしたあと、締めなおします。



# 引き出しの取り外しと取り付け・調整方法

## 警告



扉や引き出しを取り付けたら、傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

必ずおこなう 扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

## 注意



扉と引き出しの調整は電動工具を使用しないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う。

必ずおこなう 破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

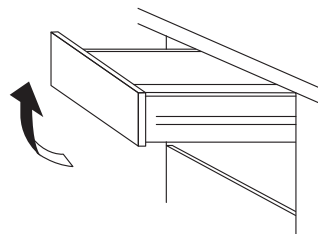
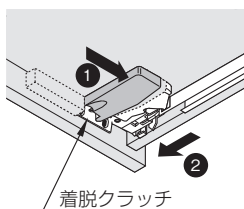
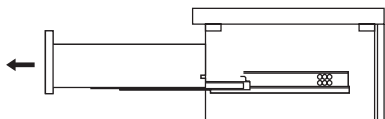
引き出しがキャビネットレールに確実に固定されていない状態で引き出しを出すと、引き出しが外れて下に落ちる危険性があります。事故防止のため、引き出しに物を入れない状態で引き出しを手前に出し、キャビネットレールに固定されているか確認してください。判断の目安は、引き出しを一番手前まで出したとき、その位置でしっかり止まっている状態です。引き出しがキャビネットレールにきちんと固定されていない場合は、取り付け方法の手順を確認の上やり直してください。

## 引き出しの取り外しと取り付け

### ●取り外す場合

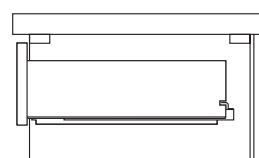
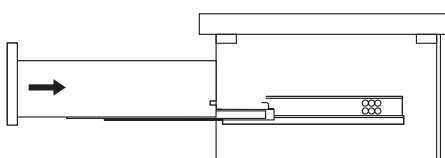
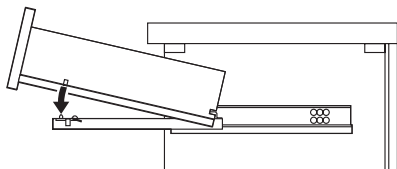
・引き出しを手前に出す。

・引き出し裏の手前左右についている『着脱クラッチ(オレンジ色)』を同時に押しながら、引き出しを引っ張りだす。



### ●取り付ける場合

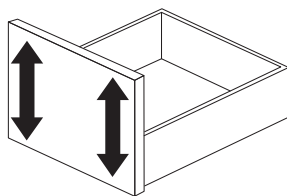
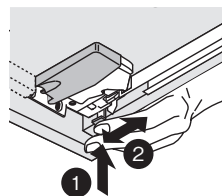
・レールの上に引き出しを乗せてから、引き出しを閉めるとレールに固定されます。レールに引き出しが傾きなく納まっていることを確認してください。



## 引き出しの調整

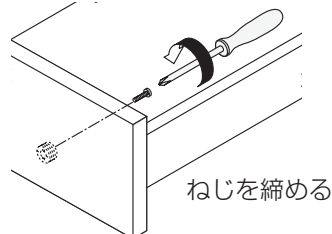
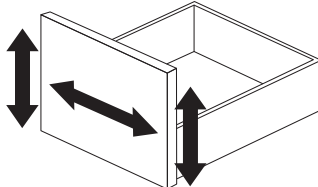
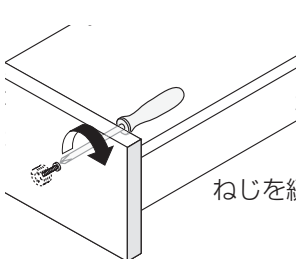
### ●扉の高さ調整

・左右それぞれにあります。



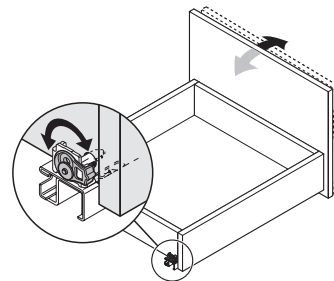
### ●扉の調整

・左右それぞれにあります。



### ●扉の傾き調整

・引き出しを外してから、キャビネット側のレールの奥にあるつまみで調整してください。



# フラップアップ扉の取り外しと取り付け・調整方法

## 警告



必ずおこなう

扉や引き出しを取り付けたら、傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する。  
扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

## 注意



必ずおこなう

扉と引き出しの調整は電動工具を使用しないで、  
ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う。  
破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

扉開閉時に無理な力を加えない。  
扉や金具の破損の原因となります。



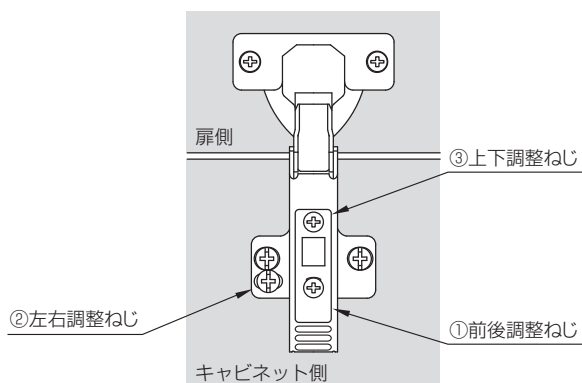
必ずおこなう

扉を開くとき、開き角度以上に開けないでください。  
扉開閉時に扉や金具の間に指などを入れない。  
けがをするおそれがあります。

## 丁番の取り外しと取り付け

●P6を参照してください。

## 丁番での扉の調整



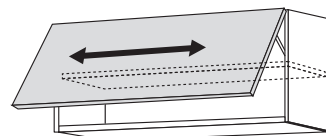
### 扉の前後調整

①をまわして  
前後調整をします。



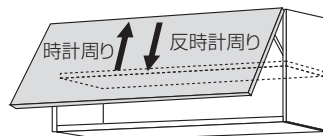
### 扉の左右調整

②をゆるめて扉ごと左右調整をしたあと  
締めなおします。



### 扉の上下調整

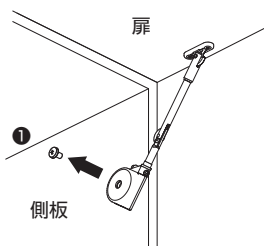
①の固定ねじを締めたまま、  
③をまわして上下調整をします。



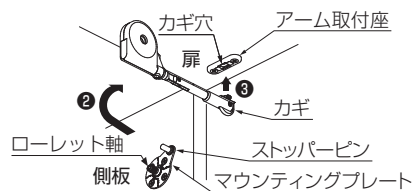
## ステーの取り外しと取り付け

### ●取り外す場合

・ステー本体の  
ねじをはずして  
ください。



・ステー本体を90°回転すると  
アーム取付座からアームが外れます。



### ●取り付ける場合

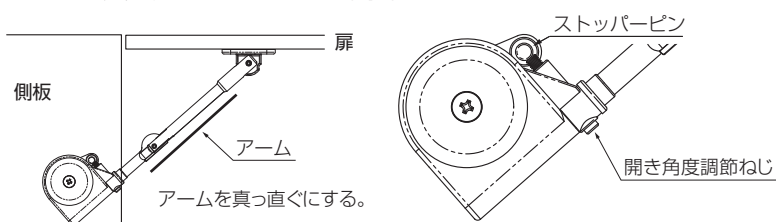
・取り外す場合と逆の手順で取り付け  
てください。

## 注意

アーム取付座のパッキンが外れる  
場合がありますので、外れた場合は  
取り付けてください。

## ステーでの扉の調整

扉を最大に開いた時にステーのアームが『く』の字に曲がらないように【開き角度調節ねじ】をストッパーピンに当て、  
アームが真っ直ぐになるように調節してください。



## 注意

アームをくの字の状態で使用し  
ますと、扉を保持できず閉まる  
可能性がございます。

ストッパーピンにねじが当たっ  
ていない状態で使用しますと、ステー  
本体に負荷がかかり、破損の原因  
となる可能性がございます。

# フラップダウン扉の取り外しと取り付け・調整方法

## 警告



扉や引き出しを取り付けたら、傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する。  
扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

必ずおこなう

## 注意



扉と引き出しの調整は電動工具を使用しないで、  
ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う。  
破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

必ずおこなう



扉を開くとき、開き角度以上に開けないでください。  
扉開閉時に扉や金具の間に指などを入れない。  
けがをするおそれがあります。

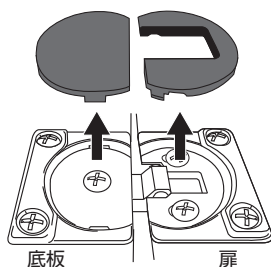
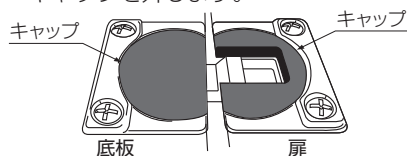
必ずおこなう

扉開閉時に無理な力を加えない。  
扉や金具の破損の原因となります。

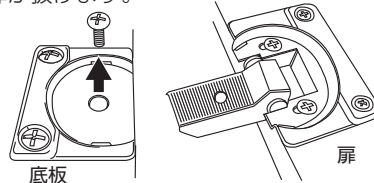
## フラップダウン扉の取り外しと取り付け

### ●取り外す場合

- ・マイナスドライバーなどで、ドロップ丁番のキャップを外します。



- ・底板側のねじを外すと、扉が抜けます。



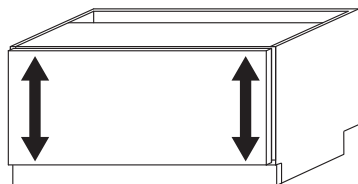
### ●取り付ける場合

- ・取り外し方の逆順番。

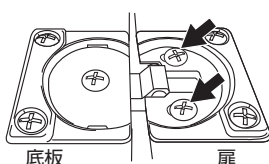
## ドロップ丁番での扉の調整

### ●扉の高さ調整

- ・左右にそれぞれあります。

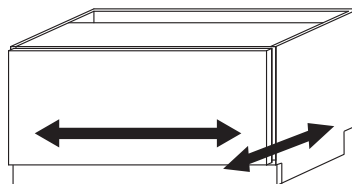


- ・キャップを外して、下記ねじ2箇所を緩めて、調整し締めなおします。

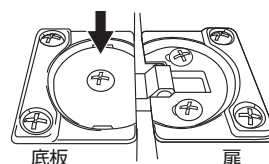


### ●扉の前後と左右調整

- ・左右それぞれにあります。



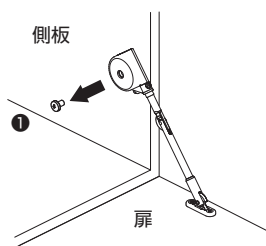
- ・キャップを外して、下記ねじ1箇所を緩めて、調整し締めなおします。



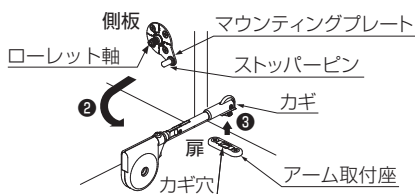
## ステーの取り外しと取り付け

### ●取り外す場合

- ・ステー本体のねじをはずしてください。



- ・ステー本体を90° 回転するとアーム取付座からアームが外れます。



### ●取り付ける場合

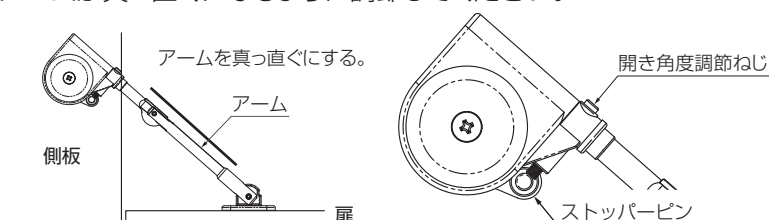
- ・取り外す場合と逆の手順で取り付けてください。

## 注意

アーム取付座のパッキンが外れる場合がありますので、外れた場合は取り付けてください。

## ステーでの扉の調整

扉を最大に開いた時にステーのアームが『く』の字に曲がらないように【開き角度調節ねじ】をストッパーピンに当て、アームが真っ直ぐになるように調節してください。



## 注意

アームをくの字の状態で使用しますと、扉を保持できず閉まる可能性がございます。

ストッパーピンにねじが当たっていない状態で使用しますと、ステー本体に負荷がかかり、破損の原因となる可能性がございます。



# 使用上のご注意

## ⚠ 使用上のご注意（必ずお守りください）

- 無垢扉は一枚一枚木目や色調が異なりますので、多少の色のばらつきが生じることがあります。また、お使いいただいている間に日光などの紫外線によって徐々に色が変わることがあります。  
この様な無垢扉特有の性質を、ご理解くださいますようお願いいたします。
- 常時水がかかる部分や、水がかかったまま長時間放置すると、変形・変色することがありますので、こまめに拭き取ってください。  
また、汚れを長時間放置すると取れにくくなりますので、こまめに拭き取る事をお勧めします。



禁 止

### カウンターの上には絶対乗らないでください。

転倒して、けがをするおそれがあります。  
破損するおそれがあります。

### 熱源を近づけないでください。

ストーブやヒーターなどの暖房機器、熱価の高い電灯などを製品に近づけますと、変形・変色・火災発生のおそれがあり危険です。

扉や、取手、引き出しにぶら下がったり、  
扉を大きく開け過ぎないでください。  
扉や引き出しを開けたままにしないでください。

扉や、取手、引き出しがはずれて、けがをするおそれがあります。

### 引き出しの上には絶対乗らないでください。

引き出しが外れて、けがをするおそれがあります。

丁番やステー、扉などの隙間には、絶対に手や指を  
入れないでください。

手や指をはさんでけがをするおそれがあります。

### 物がはさまったまま、無理に扉を閉めないでください。

丁番などが破損する原因となります。  
(吊戸の場合、扉が落下する原因になります。)

キャビネット内に不安定なものを置いたり、  
つめこまないでください。

扉を開けたとき、あるいは地震等の振動で落下し、けがをするおそれがあります。

本商品に収納できる家電製品には制限があります。  
電気コンロ・電熱器・ガスコンロ・ガス炊飯器など、熱  
源の露出した器具・電気フライヤーなどを使用しない  
でください。

本商品は可燃物です。不燃材・難燃材・防熱板・遮熱板仕様ではありません。  
収納する家電機器については各商品の使用説明書にある設置基準をお守り  
ください。

機器の製造元がユニット内設置を推奨しない物は  
収納しないでください。

### シンナーなどは使わないでください。

酸性・アルカリ性の洗剤や、シンナーなどの溶剤系、薬品類を使用しないでく  
ださい。

変色や劣化のおそれがあります。



注 意

カウンターやキャビネットの角部に衝突など  
しないように注意してください。

小さなお子様の場合頭をぶつけてけがをするおそれがあります。

カウンター面に熱い物を置かないでください。

変形・変色の原因となります。

固い物でカウンター面をこすらないでください。

傷がつく原因となります。

各キャビネットの収納の重量規定を守ってください。

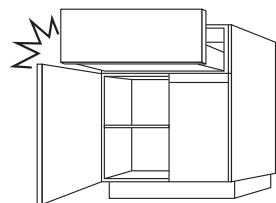
落下・破損により、けがの原因となります。

ガラス扉の開閉には、十分注意してください。

破損した場合、破片によりけがをするおそれがあります。  
強化ガラスは外力が加わっていない状態で、不意に破損することがあります。

上下の扉や引き出しを同時に開けないでください。

扉と引き出しを同時にあけると扉が干渉し、キズがつく場合があります。



汚れたまま、ぬれたままにしないでください。

油・調味料など食品の汚れは、サビや腐食、カビの原因となります。また、木部  
が水を含み傷んだり、レールや丁番が錆びるおそれがありますので、しっか  
りと拭き取ってください。

シールやテープ類を貼らないでください。

粘着材で表面が傷むおそれがあります。また、はがした後、汚れが残るおそれ  
がありますので貼らないでください。

家庭用ゲーム機、AV機器、家電製品など、発熱量の大  
きい製品を設置する場合は、側板・壁面との間にすき  
間をあけてください。

家電製品・調理器具の取扱説明書に記載の設置寸法をお守りの上、ご使用く  
ださい。

引き出し箱は木製のため、木特有のにおいがします。



分解禁止

分解や改造をしないでください。

破損・けがの原因になります。

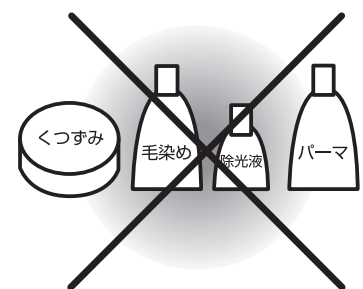
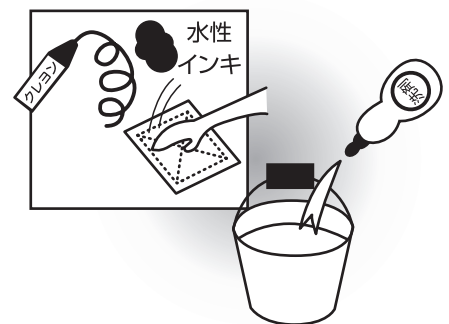
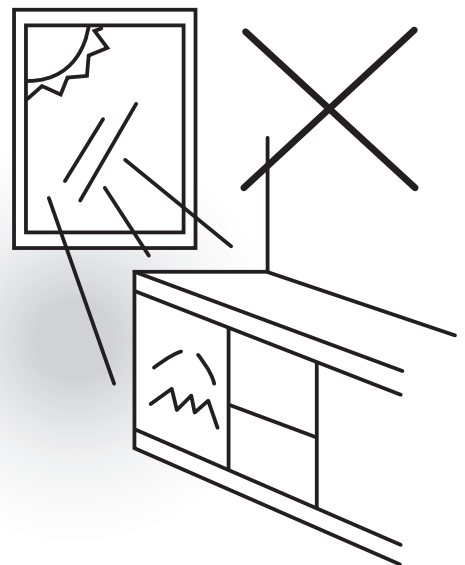
## ご使用方法について

- 天然木は直射日光が当たると日焼けして色が変わります。また日光の当たらない箇所との色差が生じます。日差しの強いところではカーテンやブラインドなどで、直射日光が当たらないようにご注意ください。

また、水滴が付いた場合は柔らかい布で拭き取ってください。繰り返し放置すると、膨らみや反りの原因になります。

## お手入れ方法について

- ほこりや小さな汚れは、きれいな柔らかい布で軽く乾拭きしてください。
- コーヒー、しょう油、カレー粉、油、ヨウ素を含むうがい薬、漂白剤などが付着した場合はすぐに拭き取った後、中性洗剤を薄めたものに柔らかい布を浸して固く絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で仕上げ拭きをしてください。そのまま放置するとシミになって取れなくなるおそれがあります。
- クレヨン、水性インキなどが付着した場合は、中性洗剤を薄めたものに柔らかい布を浸して固く絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で仕上げ拭きをしてください。落ちにくい汚れの場合は、アルコールを含ませた布で軽くふきとってください。
- シンナー・ベンジン等の溶剤や研磨剤、アルカリ性\*酸性の洗剤等は使用しないでください。\*弱アルカリ性は除く
- 靴墨や毛染め剤、除光液、化粧品、薬品などが付着しないよう注意してください。拭き取ってもシミが残ったり、塗装面が変化する事があります。
- 長くお使い頂くために、水分が垂れたらこまめに拭き取ってください。硬いものや尖ったものが落下すると塗膜が割れることがあります。塗膜がキズついたら、市販塗料で補修してください。



## 使用上の注意

常時水がかかる部分や、水がかかったまま長時間放置すると、塗膜が変化することがありますので、こまめに拭き取ってください。

また、汚れを長時間放置すると取れにくくなりますので、こまめに拭き取る事をお勧めします。

無垢扉は一枚一枚木目や色調が異なりますので、多少の色のばらつきが生じることがあります。また、お使いいただいている間に日光などの紫外線によって徐々に色が変わることがあります。

この様な無垢扉特有の性質を、ご理解くださいますようお願いいたします。



# 収納量の目安（重量規定）

## 耐荷重表



注意

- ◆耐荷重を守ってください。
- ◆割れやすい物や鋭利な物を不安定な状態に置かないでください。

落下・転倒破損によりけがの原因となります。



使用上の注意

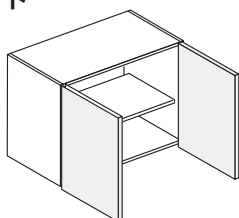
- ◆収納物は分散して収納してください。

重い物を底板や棚板の中央に置くと反りの原因になります。  
引き出しの場合は、手前側に片寄って置くと閉まりにくくなるおそれがあります。

### アップーキャビネット

#### 開き扉

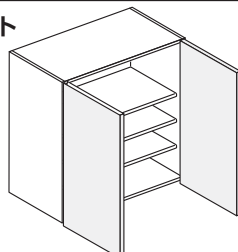
耐荷重：  
棚板 10kg  
底板 10kg



### ミドルキャビネット

#### 開き扉

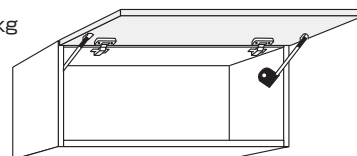
耐荷重：  
棚板 10kg  
底板 10kg



### アップーキャビネット

#### フラップアップ扉

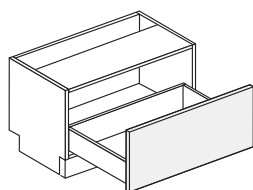
耐荷重：  
底板 10kg



### ベースキャビネット

#### 1段引き出し扉

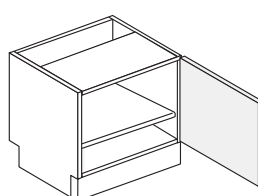
耐荷重：  
下段 15kg



### ベースキャビネット

#### 開き扉

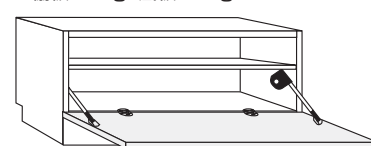
耐荷重：  
棚板 10kg  
底板 10kg



### ベースキャビネット

#### フラップダウン扉

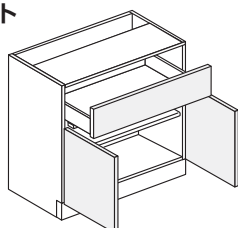
耐荷重：棚板 10kg 底板 10kg



### ベースキャビネット

#### 1段引き出し

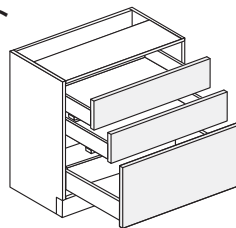
耐荷重：  
上段 15kg  
棚板 10kg  
底板 10kg



### ベースキャビネット

#### 3段引き出し扉

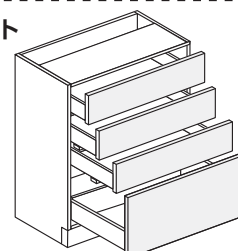
耐荷重：  
上段 15kg  
中段 15kg  
下段 15kg



### ベースキャビネット

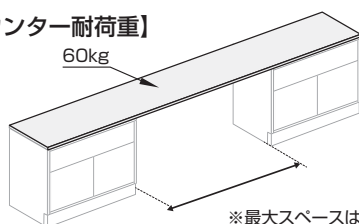
#### 4段引き出し扉

耐荷重：  
上段 15kg  
中段 15kg  
下段 15kg



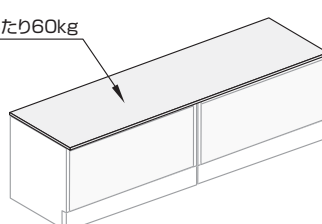
### 【カウンター耐荷重】

60kg

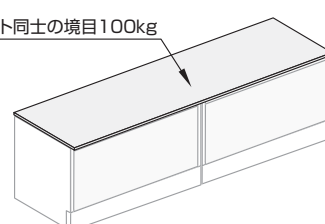


※最大スペースは900ミリ  
それ以上は変形のおそれがあります。

1キャビネットあたり60kg



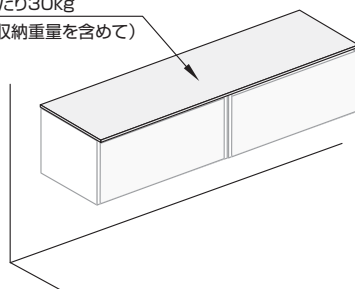
キャビネット同士の境目100kg



### ■フロートタイプ

### 【カウンター耐荷重】

1キャビネットあたり30kg  
(キャビネット内収納重量を含めて)



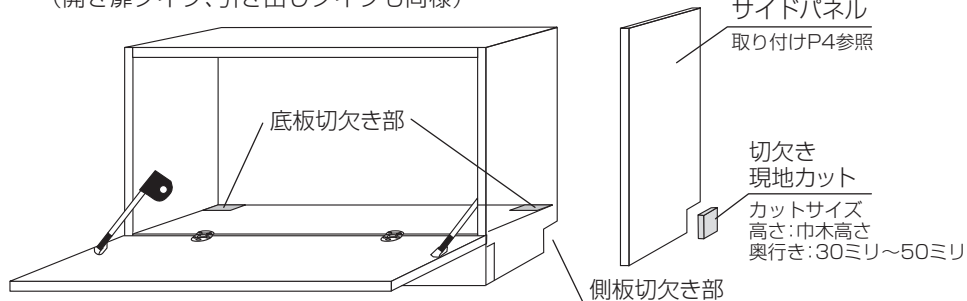
荷重はできるだけ分散させ、重量物は板を敷くなど一ヶ所に集中させないようにしてください。

# 配線について(リビングTV台プラン)

## 配線を通すには

- リビングTV台プランのキャビネットには配線を通し易いように、各パーツに切欠き部があります。

(例)ベースキャビネット フラップダウン扉タイプ  
(開き扉タイプ、引き出しタイプも同様)



※サイドパネルには切欠きをしておりません。

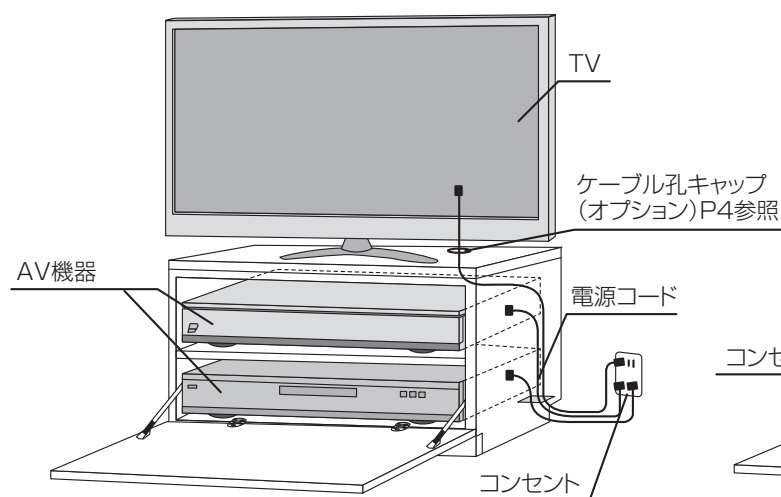
### ⚠ 注意

サイドパネルの外側から配線を通す場合(キャビネットの横にコンセントがある場合)は、サイドパネルに配線を通せるように切欠き(現地カット)をしてください。

- キャビネットの横にコンセントがある場合

キャビネットの切欠き部から配線することができます。

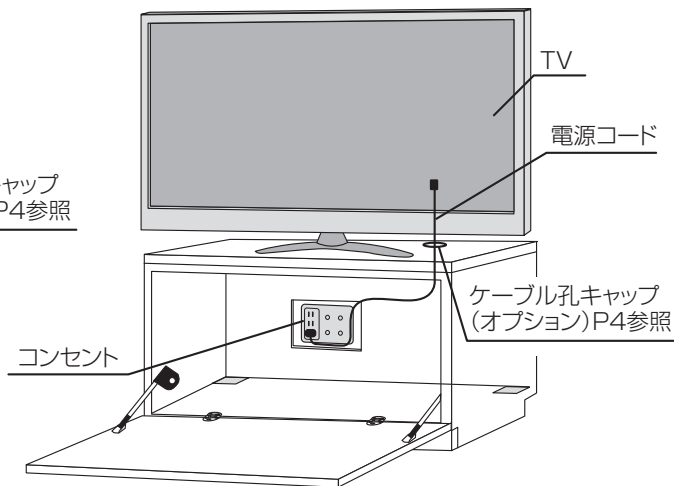
※サイドパネルの切欠きは現地カットです。



- キャビネットの裏にコンセントがある場合

キャビネットの裏板をコンセント位置で切欠いて(現地カット)してください。

※サイドパネルの切欠きは不要です。



※カウンター上部のテレビ等の配線を通す場合にはオプションの「ケーブル孔キャップ」をご使用ください。

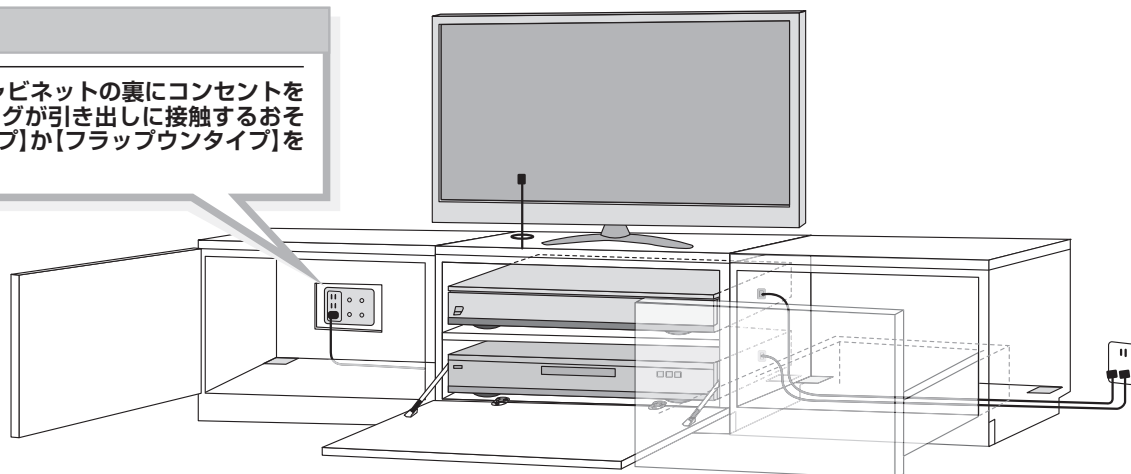
詳しくはP4の「カウンターの取り付け」をご参照ください。

※上記のイラストはサイドパネルが付いていない状態です。

- キャビネットを連結する場合も、自由に配線していただけます。

### ⚠ 注意

【引き出しタイプ】のキャビネットの裏にコンセントを設定すると、機器のプラグが引き出しに接触するおそれがあるので【開きタイプ】か【フラップウンタイプ】を設置してください。



※上記のイラストはサイドパネルが付いていない状態です。

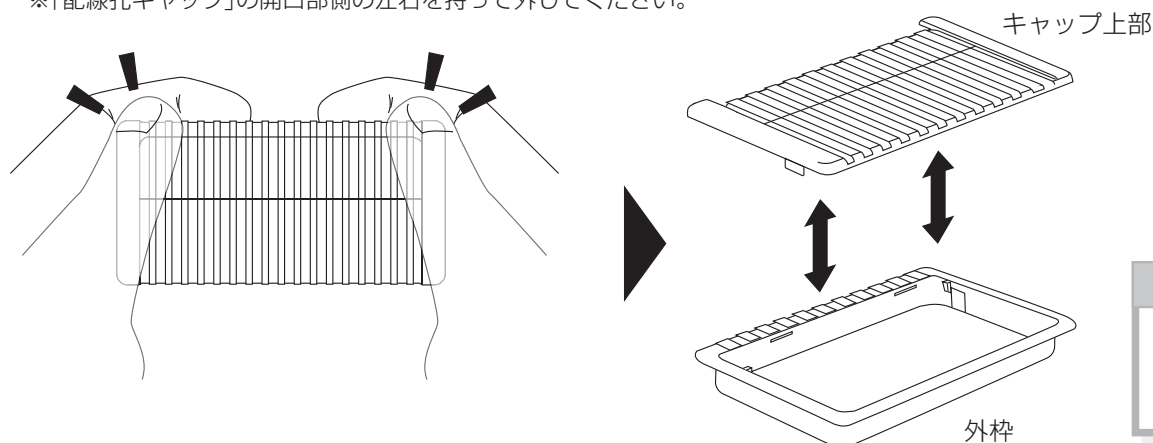
# 配線について(リビングTV台プラン)

## 配線孔キャップ

●キャビネット底板の切欠き部へは、同梱の「配線孔キャップ」を取り付けてください。

●キャビネット底板の切欠き部へ取り付ける前に、「配線孔キャップ」を「キャップ上部」と「外枠」に外してください。

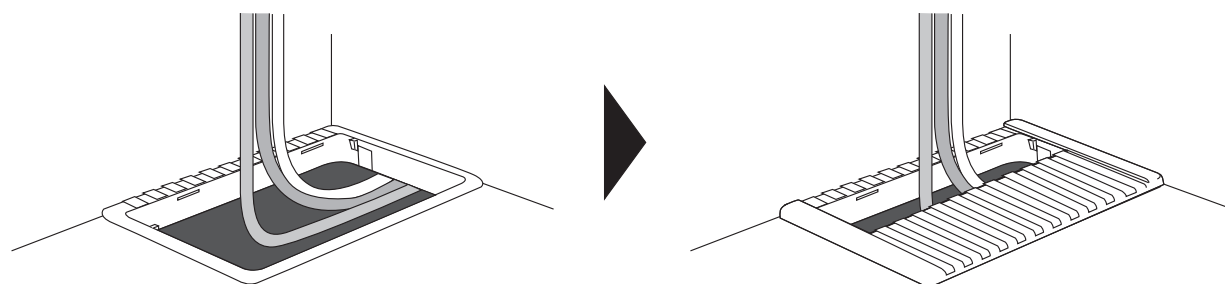
※「配線孔キャップ」の開口部側の左右を持って外してください。



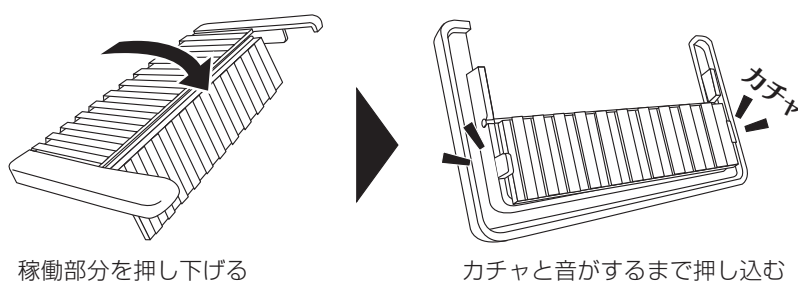
### ⚠ 注意

無理な力を  
加えないでください。  
破損するおそれがあります。

●配線時には取り外した「外枠」のみ取り付け、配線後は「上部キャップ」を半分にたたんで取り付けてください。



●「上部キャップ」を  
半分にたたむ。



稼働部分を押し下げる

カチャと音がするまで押し込む

### ⚠ 注意

無理な力を  
加えないでください。  
破損するおそれがあります。

●配線を通さない場合は上部キャップを閉めた状態で取り付けてください。

